

便利なローラートレイ付広口容器(特許 第4386785号)の使い方
この容器はローラーバケが直接入り、天面のトレイ部分で塗料をしこくことができる画期的な容器です。下記の使用方法にしたがってご使用下さい。
使用するローラーバケはミドルローラーやスリムローラーが適しています。

使用方法 ●使用前に容器を前後によく振り、中の塗料を均一にします。(フタが開くおそれがありますので、注意して下さい)

- ① フタが容器の中に落ちないよう、フタについているつまみを持ちながら、フタの矢印のところに容器の角の隅に、マイナスドライバーを差し込んでフタを開けます。フタの裏や容器の口の端に、半乾きの塗料がついていることがありますので、ウエスで拭き取り、フタは保管しておきます。
- ② 右のようにラップでおおっておくと、洗う手間がなくなり後始末が簡単です。
- ③ 棒などで容器の底までよくかき混ぜ、塗料を均一にします。
- ④ ローラーバケを容器の中に入れローラー部分に塗料をつけます。
- ⑤ 天面のトレイ部分でローラーを転がし、塗料をまんべんなくなじませて塗装します。

- 容器をラップでおおう方法**
- ②-1 サゲ手はトレイ部の方へ倒した状態で、ラップを容器の天面より大きめにカットし、缶の天面全体をおおいます。(ポリ塩化ビニリデンのラップをお使い下さい)
 - ②-2 ラップを容器の天面にフィットするように軽く押し入らせた後、余ったラップを缶の側面に巻きつけます。
 - ②-3 容器の口の部分のラップにカッターナイフなどで切り込みをいれ、ローラーバケが入るようにします。カットしたラップは容器の口の内側へ巻き込みます。
 - ②-4 サゲ手を持って場所を移動する時は、トレイ部のラップを容器の口の方へめくりあげてサゲ手を持って下さい。再度、塗装する時はサゲ手をトレイ部に倒しラップも元に戻して下さい。

使用上の注意
1. 塗装下地に腐敗菌、カビ菌がついている場合があります。その菌が容器内の塗料に混ざり込むと保存中に塗料が腐敗することがあります。早めに塗料を使い切ってください。
2. 落下によりフタが開いたり、容器が変形することがありますので、容器の取扱に注意して下さい。



Water Based Concrete Floor Paint

砂ボコリを防ぐ! 美しいツヤ!

水性 強力コンクリート床用

ガレージ、倉庫、ベランダ、テラスなどのコンクリート床に

優れた防塵効果! 塗膜が硬く 摩耗に強い
本品の下塗りには必ずアサヒペン強浸透性水性シーラーまたはアサヒペン油性シーラーをご使用下さい。
水性シーラーは使用しないで下さい。

10L

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は使用していません。
注意書きをよく読んでから使用して下さい

標準塗り面積 (2回塗り)
57~86㎡
タタミ34~52枚分

乾燥時間
夏期/30分~1時間
冬期/2~3時間

塗り重ね時間の目安
夏期/2時間以上
冬期/6時間以上

塗りにくいときは 水 (5%以内) でうすめて下さい



Water Based Concrete Floor Paint

砂ボコリを防ぐ! 美しいツヤ!

水性 強力コンクリート床用

ガレージ、倉庫、ベランダ、テラスなどのコンクリート床に

優れた防塵効果! 塗膜が硬く 摩耗に強い
本品の下塗りには必ずアサヒペン強浸透性水性シーラーまたはアサヒペン油性シーラーをご使用下さい。
水性シーラーは使用しないで下さい。

10L

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は使用していません。
注意書きをよく読んでから使用して下さい

標準塗り面積 (2回塗り)
57~86㎡
タタミ34~52枚分

乾燥時間
夏期/30分~1時間
冬期/2~3時間

塗り重ね時間の目安
夏期/2時間以上
冬期/6時間以上

塗りにくいときは 水 (5%以内) でうすめて下さい

砂ボコリを防ぐ! 美しいツヤ! 水性 強力コンクリート床用

- 商品名** 水性強力コンクリート床用
品名 合成樹脂塗料(水系)
成分 合成樹脂(アクリル)、顔料、水
特長
●ベランダやガレージのコンクリート床などに手軽に塗れる水性塗料で、乾燥が速く、美しいツヤが仕上がります。
●特殊アクリルエマルジョンを成分としているので耐磨耗性・耐がらんび性・耐水性など耐久性に優れています。
●安全で、取扱いが簡単な水性塗料です。

用途
●ベランダ・ガレージ・玄関・事務所・倉庫などのコンクリート床の防塵・美化・標示・簡易防水。
●塗料が乾いた後、水で洗っても、いつも濡れているところ、フローリングなど重畳車庫が通るような場所には適しません。

- 塗装方法**
① はがれがかった古い塗膜は、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
② ひび割れや穴などは、あらかじめセメントやコーキング材などで補修しておきます。
③ 塗る面の汚れ・ホコリ・砂・コンクリートのアク・カビなどを取り水洗いしてから充分に乾かします。水分はペイントうすめ液で拭き、よく落とします。
④ 塗料が乾いた後は、あらかじめマスキングテープなどでおおいます。
⑤ 塗膜のフクレ・ハガレ防止のため、右下の処理の注意にしたがって下地処理を行います。
⑥ 塗料は、桶などで容器の底までよくかき混ぜて均一にします。
⑦ 塗料の粘度が高く塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。
⑧ コーナーや塗りにくいところは先にすじがいバケやミニコバケで塗っておきます。広いところは、ローラーバケ・コバケ・ローラーなどを使うと、速く、楽に塗ることが出来ます。
⑨ 1回塗りの量が乾いた後、必ず2回塗りを行います。
●マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。
●表記の乾燥時間は半硬化(指で軽くすく跡が残らない状態)の時間です。

下地処理の注意
塗膜のフクレ・ハガレ防止のため、以下の処理をして下さい。
① つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗ってください。
② 未塗装のコンクリートやモルタル面に塗るときは、必ずアサヒペン強浸透性水性シーラーまたはアサヒペン油性シーラーを下塗りします。シーラーの吸い込みが多いときは、繰り返し重ねて下さい。
③ 新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後1ヶ月以上経ってから塗ってください。

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちに、水で濯いで洗って下さい。

危険
●強い眼刺激
●アレルギー性皮膚反応のおそれ
●腐食の障害 ●水生生物に毒性

救急処置
●目に入った場合は、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●吸って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●蒸気、ガスなどを吸い込んだり、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所まで安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
●皮膚に付着した場合は、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外傷に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。

取扱上の注意
1. 表示の用途以外に使用しないで下さい。
2. 体調が悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。
3. 目に入ったとき、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱ってください。皮膚に付着したまま放置すると炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。
4. 塗装中、乾燥中とも換気をよくし、その後も塗料の臭いがあるまでは、ときどき換気をして下さい。
5. 塗料が乾いた後も変質しないよう、直射日光を避けて下さい。
6. 塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗ってください。塗装後6時間以内に結露したり、雨がかかったりするとハガレたり、塗膜が溶解する場合があります。
7. すべり止め効果を持たせたいときは、削削の「すべり止め材」を塗料に混ぜ、よくかき混ぜて均一にしたら塗ってください。
8. あらかじめ目立たない部分で試し、塗りをして、色・乾燥性・下地への影響・密着性などを確かめてから塗装して下さい。シリコン系・フッ素系・その他特殊防水処理をした面や、強化コンクリート・コーキング材・シーリング材の一部のものには、塗料が密着しないことがあります。また、特殊材料や古い塗膜の上に塗装する場合、ベタつきが出る場合があります。
9. 表示の色・ツヤは実際のものと多少異なることがあります。
10. 下地を充分に乾燥させない、水分の影響で乾燥が遅れたり、塗膜にふくれを生じることがあります。
11. 塗るときおおよそ塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないよう長時間に渡って下さい。
12. 塗り重ねるときは、夏期は2時間以上、冬期は6時間以上乾かしてから塗ってください。
13. 歩行したり、重いものを置くときは、塗装後1日以上乾燥させて下さい。
14. 塗り重ね・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。
15. 容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。
16. やむをえず塗料を捨てるときは、水性・油性兼用塗料固化剤で固めるか、新築地などに埋り込み、乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。
17. 容器を落下させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

保管上の注意
●幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食したずらさないよう注意して下さい。
●直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの高温になるところ、容器が破れやすいところは避けて下さい。
●開けた塗料はしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切ってください。